

バウハウス設立100周年記念

ユニバーサルデザインの小さな家

公募募集内容

公募展の テーマ

2019年のバウハウス設立100周年を記念して、ユニバーサルデザインの小さな家を公募します。

ドイツでは、19世紀よりシュレーバーガルテンという小さな家のコミュニティが、都市の近郊で庭を持たない都会の人達が自然と触れ合う週末の憩いの場所として発達しました。工業化が進んだ今世紀に入ってから、益々その必要性を問われ、現在では、ドイツ国内や北ヨーロッパを中心にたくさんの小さな家の自治体が形成されています。

ユニバーサルデザインで、地球に優しい配慮があり且つ、現代的な新しい発想の小さな家は、ドイツのみならず、狭い土地の活用であったり、災害後の一時的な住居であったり、高齢者、核家族の住居であったり、今後世界的にも益々需要が増していくことでしょう。バウハウス設立100周年を記念して、バウハウス大学でグロピウスが目指した、芸術と技術の融合、合理的、機能的な家を今一度、この公募展のテーマとし、皆様の新たなご提案をお待ちする次第です。バウハウス大学（ドイツ、ワイマール）のウルフガング・ザットラー教授のもとで審査とそれに引き続き優勝作品の展示が行われます。

<p>提出物</p>	<p>提出物は下記の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図面、パースもしくはドローイング、CG等（2枚から5枚） ・ 建築模型（1） ・ 個人、団体、会社名と作品名及びデザインの意図を説明する文章（1） <p>※ 注意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケント紙又はそれに似た厚紙を使用のこと、サイズはA2（420mm×594mm） ・ 片面1枚、横書き ・ 敷地のプロフィールもあれば表現すること ・ モデルの最大規模をDHLのサイズL小包（45.0 x 35.0 x 20.0 m³）に入るよう合わせて、DHLサイズL小包での郵送をお願いいたします。 ・ 着払いでは、お受付できません。 ・ 送付いただいた提出物、モデルは、ご自分で輸送宛先に取りに来ていただける以外は、返却されませんので、ご了承ください。
<p>必須条件</p>	<p>小さな家の建築サイズに関する必須条件は下記通り：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最大50m²の面積（建物のみ） ・ 最大5メートルの高さの建物 ・ 庭等が付いている際、庭が建物最大平面を超えても構いません。
<p>応募締切</p>	<p>2018年10月15日に必着でご応募下さい。</p>
<p>郵送宛先</p>	<p>Ms Michaela Busch Kühne + Nagel (AG & Co.) KG KN Expo & Event Logistik Karlsruher Str. 4, 30880 Laatzen, Germany T: +49 511 820 980 153 michaela.busch@kuehne-nagel.com</p>

<p>参加申込み の方法</p>	<p>参加希望者は、申し込み用紙をダウンロードして、10月10日までにメールでお申し込みください。 申し込み用紙ダウンロード先： http://universal-design.org 申込書の送り先：sh@universal-design.org</p> <p>会社、企業：800ユーロ 社会人個人応募：500ユーロ スタートアップ企業（チームでも個人でも）：300ユーロ 大学、学校のチーム：200ユーロ 学生（大学、専門学校等含む）：100ユーロ</p> <p>また、日本語でのお問い合わせは、 designdinge@gmail.com、 英語、ドイツ語はsh@universal-design.orgまで。</p>
<p>審査員</p>	<p>バウハウス大学ワイマール教授でユニバーサル・デザイン・フォーラム協会会長のウルフガング・ザットラー教授を審査員長とし、幅広い専門分野から選ばれた5人の専門家の審査員により審査されます。</p>
<p>賞</p>	<p>最終審査に残った20作品は、ドイツ、ワイマール、エルンスト・ノイフェルト・ボックスで展示されます。 最優勝賞に2千ユーロの賞金が授与されます。 優秀賞の20人には、展覧会開始時にバウハウス大学と美術館（ワイマール）プライベートツアーにご招待します。（ただし、ドイツまでの航空券は実費） 1位の建築を日本にて実現計画を現在検討中です。</p>
<p>著作権</p>	<p>アワードが授与された優秀作品の著作権は、第三者使用への承諾を含め、応募者とユニバーサルデザイン協会との共有ライセンスとなります。両方で共有使用権利の契約を結びます。</p>

参考写真



バウハウス大学（ワイマール）



Haus am Horn 《ハウス・アム・ホルン》は、1923年のバウハウス展の為にゲオルク・ムッヘによる設計をベースにワイマールに建てられたバウハウス初の実験的建築物。



ワイマールのバウハウス大学で建築を学んだ建築家エルンスト・ノイフェルトは、世界的に訳されて何十年も再販された建築基準寸法の図面集ノイフェルト建築設計大事典の作者としても有名である。彼が考える理想的な家の大きさである、10m x 10m x 10m にちなんで、記念館および展示会場のエルンスト・ノイフェルト・ボックス（10メートル角のキューブの建物）がワイマールの近くに建設され、今回の公募展の審査と展示会はここで行なわれる。



典型的なドイツのシュレーバーガルテン、家庭菜園や花壇が周囲にある。